

事務事業名		子育てネット開設事業		実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業 ☐																												
政策体系	政策名	04 安全が確保されたまちづくりの推進		事業期間																												
	施策名	15 子育て支援の推進		単年度のみ																												
	基本事業名	02 地域における支援体制の整備		単年度繰返 (開始 不明 年度～)																												
根拠法令				期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																												
所属	部課名	生活福祉部子ども課		<table border="1"> <tr> <th colspan="5">予算科目</th> </tr> <tr> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業</th> </tr> <tr> <td>01</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>06</td> <td>05</td> </tr> </table>		予算科目					会計	款	項	目	事業	01	02	01	06	05												
	予算科目																															
	会計	款	項			目	事業																									
	01	02	01			06	05																									
課長名	下田 牧子																															
係名	子育て支援係																															
担当者	岡崎充博	電話	0192-27-3111																													
		内線	192																													
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) SNSを活用した子育て支援情報等を提供する等し、子育ての悩みを一人で抱えないよう、保健師などの専門職員による定期的なフォローを行う。 平成27年度は、地域活性化・地域住民生活緊急支援交付金を活用して、当該支援サイトの構築業務を行った。																																
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">全体計画(※期間限定複数年度のみ)</th> </tr> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td>事業費</td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>1,976</td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>726</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>2,702</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>360</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>1,440</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>4,142</td> </tr> </table>						全体計画(※期間限定複数年度のみ)		総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金	1,976	都道府県支出金		地方債		その他		一般財源	726	事業費計(A)	2,702	人件費		正規職員従事人数	1	延べ業務時間	360	人件費計(B)	1,440	トータルコスト(A)+(B)	4,142
全体計画(※期間限定複数年度のみ)																																
総投入量 (千円)	事業費																															
	財源内訳																															
	国庫支出金	1,976																														
	都道府県支出金																															
	地方債																															
	その他																															
	一般財源	726																														
事業費計(A)	2,702																															
人件費																																
正規職員従事人数	1																															
延べ業務時間	360																															
人件費計(B)	1,440																															
トータルコスト(A)+(B)	4,142																															

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)			⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
前年度実績(前年度に行った主な活動)			名称		単位				
子育てネット「つばきっず」を開設し、子育てに関する情報を発信した。			ア	メルマガの配信数	通				
今年度計画(今年度に計画している主な活動)			イ						
			ウ						
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等			⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・子育て世帯			名称		単位				
・市内の子育て支援団体数			カ	市内の子育て世帯	世帯				
			キ	子育て支援団体の当該サイトへの登録数	団体				
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)			ク						
子育てについて知りたい情報が得られる			⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)						
			名称		単位				
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			サ	メール配信登録件数	人				
安心して子どもを産み育ててもらう。			シ						
			ス						
(2) 総事業費・指標等の推移									
			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円					1,253	726
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円						726
		事業費計(A)	千円	0	0	0	0	1,253	1,452
	人件費	正規職員従事人数	人					1	1
		延べ業務時間	時間					120	240
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0	480	960
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	0	1,733	2,412
⑤活動指標		ア	通	—	—	—	—	1	2500
		イ							
		ウ							
⑥対象指標		カ	世帯	—	—	—	—	3,528	3528
		キ	団体					1	10
		ク							
⑦成果指標		サ	人	—	—	—	—	22	1,000
		シ							
		ス							

事務事業ID	1718	事務事業名	子育てネット開設事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
国の補助事業導入により開始。地域活性化・地域住民生活緊急支援交付金(地方創生先行型) 子育ての悩みを一人で抱えないような仕組みを整備し、安心して妊娠、出産できる環境を整備することを目的として開始された。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
平成27年度については、地方創生先行型交付金の財源により実施し、子育て支援サイトの構築を行っている。 平成28年度以降、定期的にホームページの内容を更新しながら、内容の充実させていく。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
子育て支援団体からの意見:子育て中の世帯から、子どもの写真を募集してサイトトップページにスライドショーとして表示してはどうか。地域ごとの子育て支援拠点等をマップ化して掲載してはどうか等の意見が寄せられている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	子育てに関する悩みを一人で抱えないよう、相談窓口の紹介等の子育て支援に関する情報発信等を行っており、子育て世帯が安心して子育てができる環境整備に貢献しているので結びついている。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	子育て支援団体が自ら投稿できる仕組み等を整え、地域における子育て支援体制の整備を図る観点から市が実施すべき事業である。	
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	18歳以下の子をもつ全ての子育て世帯及びその世帯を支援するための団体等を対象としており、妥当である。	
	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	市内の子育て支援団体からの要望や当該ホームページの登録者等の意見をもとに、更にホームページの内容を充実化させていくことで、当該サイトへの登録者の増加が見込めることから、成果の向上の余地がある	
有効性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	市の子ども子育て支援事業計画では、子育て世代が安心して生活をおくることができるよう、地域全体で子育て世帯を支援することとしており、この事業は子育て支援の情報を発信するための重要な役割を担っていることから、廃止・休止することは、子育て世帯がこれらの情報を入手するための手段を失うことから、子育て支援世帯への支援が衰退する恐れがある。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	この事業は、市内子育て支援団体自らが情報を発信できる仕組みを整えたサイトであり、ほかに類似事業がない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	本事業では、サイト構築のための費用が発生しているが、次年度以降においては、当該サイトの管理運営費用のみとなる。サイトを適切に運営管理するだけでなく、サイトの内容を更新するための最小限の費用により運営することとしており、これ以上の削減の余地はない。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	サイトの内容の更新や管理運営等の直接的な作業は業者委託により実施しており、担当者の業務は子育て支援団体からの情報発信に係る新着情報等の管理及びサイトの更新内容の指示のみであり、これ以上の削減の余地は無い。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	妊娠、子育て中の世帯について、すべての世帯を対象としており、公平である。	

事務事業ID	1718	事務事業名	子育てネット開設事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成27年度末に開始した事業のため、情報発信やサイトへの登録者数等については、平成28年度以降増加させていく。サイトへの登録者数を増加させるために、当該サイトの内容を充実させていく必要がある。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 市内の子育て支援団体からの要望や当該ホームページの登録者等の意見をもとに、更にホームページの内容を充実化させていくことで、サイトの閲覧者やメルマガ配信の登録者数を伸ばすことで、市における子育て情報の発信、情報交換等のための仕組みとして定着させていく。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 市内子育て支援団体に活用してもらうため、このサイトに登録して情報を発信する市内子育て支援団体を増やしていく必要がある。																							

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	子ども課長
	下田 牧子

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 昨年度末から実施した新規事業であるが、情報の充実とサイトの周知が必要である。										
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 子育て世帯への情報発信は、不安解消や孤立化を防ぐために重要な事業であり、より充実させて継続していく必要がある。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持		○	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項